

成田スカイシリーズ マリーンズ対ジャイアンツ

成田が生んだ二人のヒーロー

イースタンリーグの千葉ロッテマリーンズと読売ジャイアンツの公式戦を市内で開催するイベント「成田スカイシリーズ」が7月30日、大谷津運動公園野球場で行われました。成田が生んだ二人のヒーロー、マリーンズの唐川選手とジャイアンツの岩館選手が登場。元気な姿を披露しました。試合開始前とインニングの合い間には、二人の母校・成田高校による吹奏楽演奏やダンスドリル、子どもたちによるダンスなど、さまざまなアトラクションも行われ、会場は大勢の観客で盛り上がりました。



花束を受け取るマリーンズの唐川選手(右)とジャイアンツ岩館選手



試合開始前のサイン会。あこがれの選手が目と鼻の先に



インニング間のイベントも大盛況

印旛郡市PTAバレーボール大会

成田小が優勝 平成小が準優勝

印旛郡市PTAバレーボール大会が7月6日、市体育館で行われ、市代表として出場した成田小チームが優勝、平成小チームが準優勝を果たしました。同大会で成田市のチームが決勝に進んだのは、昭和60年以降では初めて。両チームは10月30日に開催される県大会へ出場します。互いに激戦を勝ち抜いて迎えた決勝戦は、くしくも1週間前に行われた市大会決勝と同カード。このときは平成小が逆転の未成田小を破りました。円陣を組んで仲間とリベンジを誓ったという成田小主将の須合直美さんは「PTA会長が一人一人の名前を書き込んでくれた鉢巻きで気合いが入りました。この勝利は今まで支えてくれた皆さんのおかげです」と喜びをかみしめていました。



県大会での健闘が期待される成田小チーム(上)と平成小チーム



祭りだ、ワッショイ!

8月2日・3日の両日、三里塚祇園祭と本三里塚夏祭りが行われました。三里塚区は以前、上町(老松町)、若竹町、梅園町、桜川で4台の屋台が曳き廻されていましたが昭和35年で途絶えていました。昭和53年に復活し、平成10年には現在の屋台が新造され、今年の6月には天満天神社の本殿が完成しました。一方、本三里塚の夏祭りも三里塚祇園祭の復活と同時期に始まり、昭和60年には宗吾の屋台を譲り受け町内を曳き廻しています。3日の午後と夜にはそれぞれの町内で屋台が向かい合い、お囃子と踊りの競演で祭りを一層盛り上げていました。



昭和27年につくられた本三里塚の屋台



天満天神社に戻る三里塚の屋台



盲導犬の動きに合わせてゆっくり着実に

盲導犬とふれ合おう

一緒に歩いて頼もしさを実感

視覚障がい者をサポートする盲導犬の役割の大切さを知ってもらおうと7月29日、「盲導犬とふれ合おう」と題した催しが保健福祉館で行われました。参加した子どもたちは、子犬が盲導犬として活躍するまでのプロセスを解説するビデオを鑑賞した後、目隠しをしたままの盲導犬との体験歩行に挑戦。始めのうちはおぼつかない足取りだった子どもたちですが、盲導犬の落ち着いた誘導に、時折笑顔を浮かべながら会場内を歩いていました。また、質疑のコーナーでは、盲導犬の好きな食べ物や日ごろの生活などについての質問が数多く出され、よく訓練された盲導犬の日常に子どもたちは興味津々の様子でした。

千葉県スポーツ少年団サッカー交流大会

成田SSSが優勝

第27回千葉県スポーツ少年団サッカー交流大会が8月2日・3日、市陸上競技場・球技場で、全31チームが参加して開催されました。成田市では初開催となる今大会には、市内から成田SSSとFCボレイ口の2チームが出場。FCボレイ口は惜しくも予選リーグで敗退しましたが、成田SSSが決勝トーナメントに進出。順調に勝ち進み、決勝戦では湖北台(我孫子市)を下し、見事に優勝を果たしました。



やったぜ優勝 成田SSS